

## 新潟薬科大学授業科目の 区分等に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新潟薬科大学学則第31条第2項及び第44条第1項の規定に基づき、授業科目の区分、名称及び単位数並びに卒業要件単位に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分、名称及び単位数)

第2条 各学部の授業科目の区分、名称及び単位数は、次の別表の表のとおりとする。

- (1) 薬学部 別表第1の表
- (2) 応用生命科学部 別表第2の表
- (3) 医療技術学部 別表第3の表
- (4) 看護学部 別表第4の表

(卒業の要件として修得すべき授業科目の区分及び単位数)

第3条 各学部の卒業の要件として修得すべき授業科目の区分及びその単位数は、次の表のとおりとする。

- (1) 薬学部

薬学科

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	16.5単位	159単位	175.5単位
選択科目	5.5単位以上	5単位以上	10.5単位以上
合 計	22単位以上	164単位以上	186単位以上

- (2) 応用生命科学部

応用生命科学科

区 分	教養科目	専門科目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	14.5単位	34単位	27単位	75.5単位
選択科目	12単位以上	—	36.5単位以上	48.5単位以上
合 計	26.5単位以上	34単位	63.5単位以上	124単位以上

生命産業ビジネス学科

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	14単位	50単位	64単位
選択科目	12単位以上	48単位以上	60単位以上
合 計	26単位以上	98単位以上	124単位以上

- (3) 医療技術学部

臨床検査学科

区 分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	合 計
必修科目	13単位	31単位	76単位	120単位
選択必修科目	4単位以上	—	—	4単位以上
合 計	17単位以上	31単位	76単位	124単位以上

- (4) 看護学部

看護学科

区 分	教養に関する科目	専門基礎科目	専門教育科目	合 計
必修科目	17単位	26単位	74単位	117単位
選択科目	5単位以上	4単位以上	2単位以上	11単位以上
合 計	22単位以上	30単位以上	76単位以上	128単位以上

(雑則)

第4条 この規程で定めるもののほか、授業科目に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、別表第1については、平成23年度1年次入学生から適用し、別表第2については、平成24年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行し、平成25年度1年次入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。ただし、改正後の第3条並びに別表第1及び第2については、平成27年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者及び平成27年度の2年次以上に編入学等を行った者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する（第2条の別表第2(1)の変更）。ただし、専門選択科目の薬学部開講授業科目の変更については、平成27年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する（第3条の表(1)(2)の変更、並びに第2条の別表第1及び第2の変更）。
- 2 改正後の第3条については、平成29年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者及び平成29年度の2年次以上に編入学等を行った者については、なお従前の例による。
- 3 改正後の別表第1における教養選択科目「昆虫と人のかかわり」「大地の構造と地震」「情報処理演習」及び専門選択科目「遺伝情報の臨床応用」「リード化合物の創製」の追加、並びに改正後の別表第2(2)における教養選択科目「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「TOEIC英語入門」「TOEIC英語基礎」の追加については、平成27年度1年次入学生から適用する。

附 則

- この規程は、平成30年4月1日から施行する(第2条の別表第2の変更)。
- 改正後の別表第2(1)における自由科目「特別支援教育概論」の追加については、平成29年度1年次入学生から適用する。また、別表第2(2)における教養選択科目「海外語学研修」、専門選択科目「地域コミュニケーション演習」「食品微生物学」「食品安全学」の追加については、平成27年度1年次入学生から適用する。

附 則

- この規程は、平成31年4月1日から施行する(第2条の別表第2、並びに第3条の表(2)の変更)。
- 改正後の別表第2(1)については、平成31年度1年次入学生及び平成30年度入学生の休学した者に適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。
- 改正後の別表第2(2)については、平成31年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。
- 改正後の第3条の表(2)については、平成31年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則

- この規程は、令和3年4月1日から施行する(第2条の別表第1、別表第2、並びに第3条の表(1)及び(2)の変更)。
- 改正後の第3条の表(1)並びに別表第1については、令和3年度1年次入学生、及び令和4年度以降の2年次に編入学等を行った学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。
- 改正後の第3条の表(2)応用生命科学科並びに別表第2(1)については、令和3年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。
- 改正後の第3条の表(2)生命産業創造学科並びに別表第2(2)については、令和3年度1年次入学生及び令和2年度入学生の休学した者に適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則

- この規程は、令和4年4月1日から施行する(第2条の別表第2、並びに第3条の表(2)の変更)。

- 改正後の第2条の別表第2については、令和4年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。
- 改正後の第3条の表(2)生命産業創造学科については、令和4年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則

- この規程は、令和5年4月1日から施行する(第2条の別表第1及び別表第2の変更、第2条の別表第3及び別表第4の追加、並びに第3条の表(3)及び(4)の追加)。
- 改正後の第2条の別表第1及び別表第2、並びに第3条の表(1)及び表(2)については、令和5年度1年次入学生から適用し、施行日前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。

別表第1 (第2条関係)

薬学部授業科目表

(必修科目)

区 分	授 業 科 目	単位数	卒業の要件	
教 養 科 目	外国語科目	英語Ⅰ	1	16.5単位
		英語Ⅱ	1	
		英語Ⅲ	1	
		英語Ⅳ	1	
		英語Ⅴ	1	
		英語Ⅵ	1	
	自然科学系科目	基礎数学	2	
		情報リテラシー基礎	2	
		情報リテラシー応用	2	
		物理学	1.5	
		統計学	1.5	
		物理学演習	0.5	
		化学演習	0.5	
生物学演習	0.5			
専 門 科 目	入薬科学導科目	薬学に親しむ	1	
		フレッシュヤーズセミナー	0.5	
	合薬学総科目	くすりと科学Ⅰ	0.5	
		くすりと科学Ⅱ	0.5	
	基礎薬学科目	化学平衡	1.5	
		電磁波・放射線と物質の相互作用	1.5	
		物質のエネルギーと物理平衡	1.5	
		物質の変化と反応速度	1.5	
		分子の構造	1.5	
		有機化学反応	1.5	
		官能基の性質	1.5	
機器を用いる解析法		1.5		
化学物質の構造決定		1.5		
医薬品の定性定量分析	1.5			

区分	授業科目	単位数	卒業の要件
専 門 科 目	基礎 薬 学 科	生体分子のコアとパーツ	1.5
		薬用植物と生薬	1.5
		生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5
		細胞の構造と機能	1.5
		体の構造と機能	1.5
		感染症と微生物Ⅰ	1.5
		感染症と微生物Ⅱ	1.5
		生命情報と遺伝子	1.5
		生体防御と免疫	1.5
		栄養の摂取と代謝	1.5
		生体の情報伝達	1.5
		物理化学演習	0.5
		有機化学演習Ⅰ	0.5
		有機化学演習Ⅱ	0.5
		生物化学演習Ⅰ	0.5
		生物化学演習Ⅱ	0.5
		分析化学演習	0.5
		基礎科学実習Ⅰ	0.5
		基礎科学実習Ⅱ	0.5
	基礎科学実習Ⅲ	1	
	基礎科学実習Ⅳ	1	
	薬品有機化学実習	1	
	人体構造学実習	0.5	
	微生物学実習	1	
	医薬品分析実習	1	
	生化学実習	1	
	生薬化学実習	0.5	
	衛生薬学 科目	疫学と保健・医療統計	1.5
		生活環境と健康	1.5
		化学物質と毒性	1.5
		災害薬学	1
		環境衛生実習	1
		病態生理	1.5
	医 療 薬 学 科 目	薬理作用と薬物治療の基礎	1.5
		症候と検査・疾患	1.5
		薬物動態と薬物間相互作用	1.5
		循環器系、血液・造血器系の疾患と薬	1.5
		神経系の疾患と薬	1.5
		感染症と薬	1.5
		呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5
		製剤の科学	1.5
製剤の形状と機能		1.5	
薬物動態パラメータと速度論解析		1.5	
臨床研究デザインと生物統計		1.5	
腎泌尿生殖器系・感覚器・皮膚の疾患と薬		1.5	
免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬		1.5	
代謝系・内分泌系、骨・関節の疾患と薬		1.5	
がんと薬		1.5	
代表的な疾患における薬物治療の最適化	1.5		
薬物治療に役立つ情報	1.5		
最新医療を学ぶ	0.5		
患者の権利と法規範	0.5		
医療人マインドと倫理観の醸成	1		
薬害・医療事故被害者から学ぶ	0.5		

区分	授業科目	単位数	卒業の要件
専 門 科 目	医 療 薬 学 科 目	薬剤師が備える倫理観	0.5
		多職種連携における薬剤師の役割	1
		社会保障制度と医療経済	1
		薬事関連法規	1
		地域医療における薬剤師	1
		セルフメディケーションと一般医薬品	1
		個別化医療と薬物治療モニタリング	1
		新潟地域でよく見られる疾病	1
		感染の制御と薬物治療	1
		循環器系疾患の薬物治療	1
		精神・神経系疾患の薬物治療	1
		呼吸器系疾患の薬物治療	1
		消化器系疾患、腎疾患の薬物治療	1
		内分泌系疾患の薬物治療	1
		免疫・アレルギー疾患、泌尿器系・生殖器系疾患の薬物治療	1
		悪性腫瘍の薬物治療	1
		緩和医療における薬物治療	1
		先端医療	1
		薬剤師と法律・制度	1
	薬剤使用評価	1	
	社会貢献活動Ⅰ	1	
	社会貢献活動Ⅱ	0.5	
	コミュニケーションを学ぶ	0.5	
	早期体験学習Ⅰ	1	
	早期体験学習Ⅱ	1	
	学 科 目	薬理・病態・薬物治療演習Ⅰ	0.5
		薬理・病態・薬物治療演習Ⅱ	0.5
		副作用学演習	0.5
		身体所見実習	0.5
		製剤学実習	0.5
		薬理・薬物動態実習	1
		医薬品医療用具の供給と適正使用	1
		患者応対と服薬指導	0.5
		調剤学実習	1.5
		臨床実務実習事前学習Ⅰ	3
		臨床実務実習事前学習Ⅱ	2
		臨床実務直前演習	1
	目	臨床実務実習	20
		医療現場で役立つ物理学	0.5
		医療現場で役立つ化学	0.5
		医療現場で役立つ生物学	0.5
医療現場で役立つ衛生薬学		0.5	
医療現場で役立つ薬理学		0.5	
医療現場で役立つ薬剤学		0.5	
卒業研究		10	
薬学総括演習Ⅰ		4	
薬学総括演習Ⅱ		5	
			159単位

(選択科目)

区分	授業科目	単位数	卒業の要件
教養科目	ドイツ語	2	外国語科目、人文社会系科目、自然科学系科目をそれぞれ1単位以上必ず含み、合計5.5単位以上修得すること
	中国語	2	
	ロシア語	2	
	学術英語	1	
	海外語学研修	1	
	薬学英語Ⅰ	0.5	
	薬学英語Ⅱ	0.5	
	薬学英語Ⅲ	0.5	
	経済学	1	
	法学	1	
	社会心理学	1	
	マス・メディア論	1	
	哲学	1	
	新潟の風土と歴史	1	
	新潟の食文化	1	
	文化人類学	1	
	体育	1	
	化学概論Ⅰ	1	
	化学概論Ⅱ	1	
	生物概論Ⅰ	1	
	生物概論Ⅱ	1	
植物学	1		
気象学	1		
昆虫と人のかかわり	1		
大地の構造と地震	1		
大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2		
大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2		
専門科目	リード化合物の創製	1	基礎薬学系科目2単位以上、専門医療薬学系科目2単位以上をそれぞれ必ず含み、合計5単位以上修得すること
	目的化合物をつくる	1	
	医薬品の歴史	1	
	運動生理	1	
	化粧品科学	1	
	新薬の開発	1	
	食品の安全管理	1	
	医薬品の開発と治験	1	
	病気と栄養	1	
	スポーツ薬学	1	
	遺伝情報の臨床応用	1	
	予防医療とプライマリケア	1	
	科学技術の進歩と医療倫理	1	
	サプリメントと保健機能食品の科学	1	
	多様化する福祉課題と地域共生社会	1	
	臨床心理学	1	
	薬局の役割と経営	1	
	アロマセラピー	1	
	地域医療を学ぶ	1	
	多職種連携Ⅰ	1	
	多職種連携Ⅱ	1	
海外医療事情を学ぶ	1		

別表第2 (第2条関係)

応用生命科学部授業科目表

(1) 応用生命科学科

(教養科目)

区分	授業科目	単位数	
教養必修科目 (14.5単位)	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	英語Ⅲ	1	
	英語Ⅳ	1	
	フレッシュヤーズ・セミナー	2	
	早期体験学習	1	
	生命情報科学演習	0.5	
	健康管理	2	
	キャリア形成実践演習	1	
	◎情報リテラシー基礎	2	
	◎情報リテラシー応用	2	
	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1
		上級リーディング英語	1
TOEIC英語Ⅰ		1	
TOEIC英語Ⅱ		1	
◎ドイツ語		2	
◎中国語		2	
◎ロシア語		2	
◎ロシア語		2	
海外語学研修		1	
自然科学系 4単位以上		基礎数学	2
		物理学	2
		地学	2
		確率と統計	2
	◎気象学	1	
	◎昆虫と人のかかわり	1	
社会・人文科学系 4単位以上	基礎経済学Ⅰ	2	
	基礎経済学Ⅱ	2	
	バイオとフードを巡る国際関係論	1	
	バイオとフードに関する法律	2	
	生命倫理	2	
	科学技術論	2	
	法学	2	
	歴史学	2	
	◎マス・メディア論	1	
	◎哲学	1	
◎文化人類学	1		
キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1	
	◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2	
	◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2	
	職業とキャリア形成Ⅱ	1	
体育	◎スポーツ	1	
専門医療薬学系科目	◎アロマセラピー	1	



区 分	授 業 科 目	単位数
専門選択科目 (36.5単位以上) #は薬学部開講科目 専門選択科目には他 コースのコース別必修 科目を含む。 ただし、自コースと共 通の必修科目は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を修得していなければ履修できない]	b 知的財産論	2
	b 食品製造論	2
	b 食品産業の危機管理	2
	#薬用植物と生薬	1.5
	#生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5
	#生命情報と遺伝子	1.5
	#生体の情報伝達	1.5
	#化学物質と毒性	1.5
	#生活環境と健康	1.5
	#薬理作用と薬物治療の基礎	1.5
	#神経系の疾患と薬	1.5
	#呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5
	#免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	1.5
	#感染症と薬	1.5
	#化粧品科学の科学	1
	#サプリメントと保健機能食品の科学	1
	自由科目 (教員免許取得関係科目)	教職概論
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2
教育方法論		2
理科教育法Ⅳ		2
教育相談の理論と方法		2
特別支援教育概論		1
教育実習事前事後指導		1
教育実習Ⅰ		2
教育実習Ⅱ		2
教職実践演習(中・高)		2
学習支援実地演習Ⅰ		1
学習支援実地演習Ⅱ		1
学習支援実地演習Ⅲ	1	

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。  
 \*の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。  
 bの科目は、生命産業創造学に関連が深い科目  
 #の科目は、薬学部開講科目  
 ◎の科目は、他学部との共通科目

(2) 生命産業ビジネス学科  
 (教養科目)

区 分	授 業 科 目	単位数	
教養必修科目 (14単位)	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	フレッシュャーズ・セミナー	2	
	早期体験学習	1	
	健康管理	2	
	英語Ⅲ	1	
	英語Ⅳ	1	
	キャリア形成実践演習	1	
	◎情報リテラシー基礎	2	
	◎情報リテラシー応用	2	
	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1
		上級リーディング英語	1
		TOEIC英語Ⅰ	1
TOEIC英語Ⅱ		1	
◎ドイツ語		2	
◎中国語		2	
◎ロシア語		2	
◎ロシア語		2	
海外語学研修		1	
ビジネス英語		1	
自然科学系 2単位以上		地学	2
	確率と統計	2	
	◎気象学	1	
	◎昆虫と人のかかわり	1	
社会・人文科学系 4単位以上	バイオとフードを巡る国際関係論	1	
	バイオとフードに関する法律	2	
	生命倫理	2	
	科学技術論	2	
	法学	2	
	歴史学	2	
	◎マス・メディア論	1	
	◎哲学	1	
	◎文化人類学	1	
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1
◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ		2	
◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ		2	
職業とキャリア形成Ⅱ		1	
体育	◎スポーツ	1	
	◎アロマセラピー	1	

## (専門科目)

区 分	授 業 科 目	単位数	
専門必修科目 (50単位)	生物学入門	2	
	化学入門	2	
	食品・環境科学入門実験	2	
	地域活性化フィールドワークⅠ	2	
	学習論	2	
	ITアドバンスト	2	
	食品管理論	2	
	ブランド構築論	2	
	経営管理論	2	
	基礎経済学Ⅰ	2	
	基礎経済学Ⅱ	2	
	環境科学概論	2	
	社会調査論	2	
	地域産業ビジネス論	2	
	論理的思考論	2	
	レギュラトリーサイエンス	2	
	マーケティング論	2	
	経営組織論	2	
	農業ビジネス論Ⅰ	2	
	会計学	2	
	地域活性化フィールドワークⅡ	2	
	食品商品学	2	
	卒業研究Ⅰ	3	
	卒業研究Ⅱ	3	
	専門選択科目 (48単位以上)	食文化論Ⅰ	2
		食文化論Ⅱ	2
		食品経済学	2
		産業組織論	2
		食品・植物資源論	2
		食品開発論Ⅰ	2
		サービス産業論	2
		農業ビジネス論Ⅱ	2
		地域コミュニケーション演習	1
ビジネスプロデュース論		2	
環境汚染論		2	
農業経済学		2	
商品デザイン論		2	
研究入門		2	
コンサルティング論		2	
知的財産論		2	
リサイクル論		2	
食品製造論		2	
環境技術論		2	
食品開発論Ⅱ		2	
食品産業の危機管理		2	
ｂ食品化学		2	
ｂ食品分析学		2	
ｂ栄養科学		2	
ｂ酵素化学		2	
ｂ化学工業とグリーンケミストリー		2	
ｂ食品微生物学		2	
ｂ機能食品科学		2	
ｂ発酵醸造学		2	

区 分	授 業 科 目	単位数
専門選択科目 (48単位以上)	ｂ栄養生理学	2
	ｂ廃棄物管理工学	2
	ｂ食品安全学	2
	ｂ食品流通学	2
	ｂ公衆衛生学	2
	ｂ食品の予防コントロール	2
	#香粧品の科学	1
自由科目	教育心理学	2

ｂの科目は、応用生命科学に関連が深い科目

#の科目は、薬学開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

別表第3 (第2条関係)  
医療技術学部授業科目表  
(必修科目)

科目区分	授業科目	単位	卒業要件単位数			
基礎分野	科学的思考の基礎	情報リテラシー基礎	2	13単位		
		情報リテラシー応用	2			
		英語Ⅰ	2			
		英語Ⅱ	2			
		ドイツ語	1			
	人間と生活・社会の理解	生命倫理	2			
	コミュニケーションの基礎	1				
健康・運動系科目	スポーツ	1				
専門	人体の構造と機能に関する科目	解剖学	2		31単位	
		解剖学実習	1			
		生理学	2			
		生理学実習	1			
		生化学	2			
		生化学実習	1			
		栄養学	1			
		薬理学	1			
		基礎	臨床検査の基礎とその疾病との関連に関する科目	臨床検査学への誘い		1
				臨床分析化学		1
病理学	1					
病理学実習	1					
微生物学	1					
微生物学実習	1					
免疫学	1					
臨床栄養学	1					
病態薬理学	1					
認知機能検査学	1					
分野	公衆衛生学(保健医療福祉と臨床検査)	医学概論	1			
		チーム医療(多職種連携)	2			
		公衆衛生学	2			
		関係法規	1			
野	医用工学概論(医療工学及び医療情報)	医用工学概論	2			
		医用工学実習	1			
		医療情報科学	1			
専門	病態学	臨床病態学概論	1			
		臨床病態学Ⅰ	2			
		臨床病態学Ⅱ	2			
		臨床病態学演習	2			
		門	血液検査学	血液検査学Ⅰ	1	
血液検査学Ⅱ	1					
血液検査学実習Ⅰ	1					
血液検査学実習Ⅱ	1					
分	病理検査学			病理検査学Ⅰ	2	
		病理検査学Ⅱ	2			
		病理検査学実習Ⅰ	1			
		病理検査学実習Ⅱ	1			
		野	尿・糞便等一般検査学	一般検査学	2	
一般検査学実習	1					
医動物学	2					
医動物学実習	1					

科目区分	授業科目	単位	卒業要件単位数		
専門	生化学検査学及び免疫検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2	76単位	
		臨床化学検査学Ⅱ	1		
		臨床化学検査学実習Ⅰ	1		
		臨床化学検査学実習Ⅱ	1		
		免疫検査学	1		
		免疫検査学実習	1		
	門	遺伝子関連・染色体検査学	遺伝子染色体検査学		1
			遺伝子染色体検査学実習		1
			輸血・移植検査学		輸血・移植検査学
	輸血・移植検査学実習	1			
移植・細胞療法	1				
分野	微生物検査学	微生物検査学Ⅰ	2		
		微生物検査学Ⅱ	2		
		微生物検査学実習Ⅰ	1		
		微生物検査学実習Ⅱ	1		
	生理検査学	生理機能検査学Ⅰ	2		
		生理機能検査学Ⅱ	2		
		生理機能検査学Ⅲ	2		
		生理機能検査学実習Ⅰ	1		
		生理機能検査学実習Ⅱ	1		
		生理機能検査学実習Ⅲ	1		
救急救護法		1			
臨床検査総合管理学	臨床検査総合管理学Ⅰ	2			
	臨床検査総合管理学Ⅱ	2			
	臨床検査総合管理学演習	2			
医療安全管理学	医療安全管理学	1			
	医療安全管理学実習	1			
臨地実習	臨地実習事前実習	1			
	臨地実習	11			
卒業研究	卒業研究	4			

(選択必修科目)

科目区分	授業科目	単位	卒業要件単位数	
基礎分野	科学的思考の基礎	基礎化学	2	4単位以上 (「科学的思考の基礎」「人間と生活・社会の理解」からそれぞれ2単位以上)
		基礎物理学	2	
		基礎数学	2	
	人間と生活・社会の理解	社会心理学	2	
		社会学	2	
		法学	2	

別表第4 (第2条関係)

看護学部授業科目表

(必修科目)

区分	授業科目	単位数	卒業の要件				
教養に関する科目	人文社会科学	スタートアップセミナー	2	17単位			
		社会学	1				
		人間関係論	1				
		医療倫理	1				
		文化人類学	1				
		環境と健康	1				
	自然科学	食物と健康	1				
		薬と健康	1				
		情報リテラシー基礎	2				
		情報リテラシー応用	2				
	外国語	英語Ⅰ	2				
		英語Ⅱ	1				
		英語Ⅲ	1				
専門教育に関する授業科目(専門基礎科目)	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2		26単位		
		人体の構造と機能Ⅱ	2				
		人体の構造と機能Ⅲ	1				
		疾病の原因と成り立ち	2				
		疾病の予防と治療Ⅰ	2				
		疾病の予防と治療Ⅱ	2				
		疾病の予防と治療Ⅲ	1				
		薬理学と薬剤管理	2				
		感染症と微生物	1				
		栄養学	1				
	健康と社会環境	医療と看護の歴史	1				
		家族看護学	1				
		公衆衛生学	2				
		臨床心理学	1				
		人間工学	1				
		社会保障と法	1				
		多職種連携	1				
		疫学	2				
		専門教育に関する授業科目(専門教育科目)	基礎看護学	看護学原論		2	74単位
				看護の基本技術		1	
援助的人間関係論	1						
看護倫理学	1						
生活支援技術論	2						
治療過程支援技術論	1						
ヘルスアセスメント演習	1						
看護過程展開技術演習	1						
生活支援技術演習	2						
治療過程支援技術演習	1						
基礎看護学実習Ⅰ	1						
基礎看護学実習Ⅱ	2						
地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論		2				
	地域・在宅看護論		2				
	地域・在宅看護関係法規		1				
	地域・在宅看護技術演習		2				
	在宅看護論実習		2				
	健康生活自己管理支援実習	2					

区分	授業科目	単位数	卒業の要件	
専門教育に関する授業科目(専門教育科目)	成人看護学	成人看護学概論	1	74単位
		健康の慢性的揺らぎのある成人の看護	2	
		急激な健康破綻をきたした成人の看護	2	
		成人看護技術演習	1	
		健康の慢性的揺らぎのある成人の看護実習	2	
		急激な健康破綻をきたした成人の看護実習	2	
	老年看護学	老年看護学概論	1	
		老年の疾病と治療	1	
		老年看護学実践論	1	
		老年看護技術演習	1	
		老年看護学実習	2	
		小児看護学	1	
	小児看護学	小児看護学概論	1	
		小児の疾病と治療	1	
		小児看護学実践論	1	
		小児看護技術演習	1	
		小児看護学実習	2	
		母性看護学	1	
	母性看護学	母性看護学概論	1	
		女性の疾病と治療	1	
		母性看護学実践論	1	
		母性看護技術演習	1	
		母性看護学実習	2	
		精神看護学	1	
	精神看護学	精神看護学概論	1	
		精神の疾病と治療	1	
		精神看護学実践論	1	
		精神看護技術演習	1	
		精神看護学実習	2	
		看護統合と課題探究	1	
看護統合と課題探究	チーム医療論	1		
	チーム医療実習	2		
	看護管理学	2		
	看護管理学実習	2		
	看護研究の基礎	1		
	看護研究演習Ⅰ	1		
	看護研究演習Ⅱ	2		
	災害看護学	1		
	国際看護学	1		

## (選択科目)

区分	授業科目	単位数	卒業の要件		
教養に関する科目	人文社会科学	音楽と健康	1	3単位以上	
		心理学	1		
		教育学	1		
		日本国憲法	2		
	自然科学	歯と健康	1		
		漢方とサプリメント	1		
	体育	スポーツ	1		
		健康とスポーツ	1		
	外国語	中国語	2		2単位以上
		ロシア語	2		
ドイツ語		2			
ロシア語		2			
専門基礎科目	健康と社会環境	ケアの基本理念	1	4単位以上 ◎保健師課程 必修科目	
		在宅医療	1		
		保健医療福祉行政論◎	2		
		保健統計学◎	2		
		ボランティア論	1		
専門教育科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論◎	2	2単位以上 ◎保健師課程 必修科目 ※保健師課程 履修者のみ履 修可能科目	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ◎※	2		
		公衆衛生看護活動論Ⅱ◎※	2		
		公衆衛生看護管理論◎※	2		
		公衆衛生看護政策論◎※	1		
		公衆衛生看護学演習◎※	1		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ◎※	2		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ◎※	3		
	看護統合と 課題探究	看護教育学	1		
		新たな医療と看護の課題	2		
		新潟の医療と看護の課題	1		